

俳句甲子園メール

2017年立春号 No.019

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 (E-mail:info@haikukoushien.com)
〒790-0814 愛媛県松山市味酒町1丁目10-2
TEL:089-943-1512(平日13:00~17:00) FAX:089-948-4819
松山市役所 文化・ことば課 (E-mail:bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp)
〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2
TEL:089-948-6952(平日8:30~17:15) FAX:089-934-1287

第20回大会は、記念大会としての企画が盛りだくさん。「子規・漱石生誕150年記念」特別推薦枠3チームが設けられるなど全国大会出場に大きなチャンスです。皆様からの多くのエントリーをお待ちしています。

自分の自信をつかむ 俳句をあきらめな

第19回俳句甲子園で「豚が鳴く卒業の日の砂利踏めば」で、最優秀賞・文部科学大臣賞に輝いた池内嵩人君(愛媛県立松山中央高校)に、受賞の感想や、第20回大会にむけての意気込みについて御寄稿いただきました。

愛媛県立松山中央高等学校
二年 池内 嵩人

私は愛媛で生まれ育ったこともあり、今まで俳句に触れる機会が少なかつたわけではない。が、高校2年生の春を迎えるまでは、一度も真摯に向き合うことなどなかった。しかし、人は変わるものがある。人数合わせで入った部活に2週間足らずで心を奪われてしまった。そして、今では、奇抜な句を出すことを除けば、至って普通で真面目な文芸部員として活動してい



顧問の先生と部の仲間と手を振る池内君

る。顧問の先生以外は知らないような季語を使い、長い名詞を十七音にどう組み込もう

か、こんな楽しい日々があるのは、自分の最優秀句があるからだ。私には、あれがどうしても鑑賞できない。景は想像できるが、情が何も分らない。考えれば考えるほど何も分からなくなり、遂にこの句の鑑賞をあきらめ、俳句という文学の基礎知識を学習することにした。今は、自分の弱点である吟行句を鍛えるために、客観写生の句を勉強している。

願望に掛ける熱量の大きさ

20回大会への自信は、どこにもない。自分で最低限の鑑

賞もできない句など、周囲への自慢には使えても自分の自信には繋がらない。だから、私は、これからの自信になるようなものを、これからもぎ取りに行くための準備を、少しずつではあるが進めている。実のところ、俳句甲子園のパーティーに行つて、また全国各地の同級生の皆さんとお話したい、遊びたい、という気持ちの方が強い気もする。ただ、目標に関係するのは、願いが綺麗か汚いかではなく、願望に掛けた熱量の大きさであると私は思っている。私には俳句に関してあきらめることはない。どのくらい新入部員が入ってくるかは知らないが、その時に見せる姿が痴態になりそうで怖い。これからは、すんばらしい先輩になる努力もしていこう。

OBOGG会員募集

この春に卒業されるみなさん、俳句に青春を懸ける高校生のサポートをしませんか？ 主に行司やタイムキーパーとして大会運営のお手伝いをお願いします。

入会方法

http://
www.haikukoushien.com/list/
index.php/obog/

「入会希望届」に必要事項を記入の上、メールまたはFAXにて送信して下さい。到着

送信先

E-mail:
info@haikukoushien.com
FAX: 089-948-4819

※メールの件名は必ず「OBOG会入会希望」としてお送り下さい。